

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	28	ご家族・職員の意見を取り入れたケアプランの作成や定期的なモニタリングの実施による状態に応じたケアプランの作成はされているが、入居者様の個別ニーズを引き出したケアプランの実施が十分ではない。	ケアプランの第三表にある個別サービスの記入を行えるようにする。	個別ケア計画書を担当職員が作成して、入居者様のニーズを把握する。個別ケア内容が反映されるように管理者・計画作成担当者が協同してケアプランを作成する。	6 か月	担当職員が個別ケア計画書を作成している(H25.11.1～)
2	4	運営推進会議において、地域の方の意見を参考に運営を行っているが、市区町村担当者の参加や出席されていないご家族様への議事録などによる報告がなされていない。	運営推進会議において市区町村の担当者の出席をお願いするとともに、議事録による報告をご家族様に行う。	市区町村担当職員へ運営推進会議の議事録の報告を行い、参加に向けた関わりを作っていく。ご家族様への報告は毎月の状況報告書と一緒に送付する。	6 か月	
3	37	地震発生や火災を想定した避難訓練は、実施されているが、地域の方の参加がなされていない。	避難訓練に地域の方が参加していただけるようにする。	運営推進会議において、地域の消防団の方の参加を検討する。	12 か月	
4	1	理念の唱和や掲示により職員への浸透が出来ているが、入居者様の個別ニーズの実現への要求や共同生活の捉え方が変化しているにも関わらず、理念の見直しがなされていない。	定例会などにおいて、理念の見直しを行うようにする。	月に1回実施する定例会において、少なくとも年に1回は、理念の見直しを行うようにする。	12 か月	
5	2	地域行事への参加や広報誌などを公民館に配布することにより地域に根付いてきているが、地域に開放するような行事などの企画による情報発信の機会が少ない。	地域への情報発信について、地域の方がグループホームみどりに気軽に関わられる環境作りを行う。	地域運営推進会議において、地域のニーズの把握を行い、グループホームとして地域に貢献出来る事を作っていくようにする。	12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )